

「虎穴に入らずんば虎子を得ず」という言葉があります。これは虎が住むほら穴に入らなければ、その中にいる虎の子を捕獲することはできない。つまりあえて身の危険を冒さなければ、大きな成果を挙げることはできないというたとえです。

では私たちはお浄土という成果を得るためにはどれほどの危険を冒せば良いのかといいますと、そんな危険は何もありません。阿弥陀さまは私たちに「こうしなさい」とか「こうならなければならぬ」とはおっしゃっていません。「こうならなければならぬ」というのは裏を返せばそう出来なかった者は救われぬということになります。

私たちのことを全て見抜いてくださった阿弥陀さまは、私たちが私たちのまま救われる教えを成就してくださったのです。必ず救うと誓ってくださった阿弥陀さまと共にお浄土へと参らせていただくましよう。